

【工業:建築・デザイン科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		実習	単位数	2	学科・学年	建築・デザイン科2年				
使用教科書		実教出版 建築実習1・2			副教材	プリント、その他				
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)						評価の重点				
建築および建築デザインに関する基礎的技術を実験・実習によって体験させ、専門技術への興味・関心を高める。 ・整理、指示事項を開ける態度 ・実習への取り組み方、関心、意欲 ・整理、整頓、及び安全作業 ・レポート、作品の提出						関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
						学期	月	実習名(班別)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法
前期中間	4	1班 ①木造実習 ・図板 ・継手の制作 ・建方	木造実習 図板を描ける・読める。 木工具を使い継手工制作できる。 作業、順序、方法を体得する。	作品 作業 レポート 演習実習 授業態度 取扱い、理解度 報告書の作成 図面・書類の完成度	○	○	○	○	○	
	5	②水準測量 ・レベルの使い方 ・レベルを用いた水準測量	腰掛け蟻継ぎの墨付けと加工を習得する。 道具の安全な使用方法を学ぶ。							
	6	2班 ①材料実験 ・コンクリートの調合試験	図板の見方と、建て方の作業手順、方法を習得する。		○	○	○	○	◎	
前期末	6	②CAD実習 ・パソコンの使い方 ・JWCADでの作図	水準測量について レベルの仕組みと使用法を学ぶ。 器高式による水準測量 測定結果のまとめと評価。							
	7	3班 平面構成 ・色彩構成	調合設計について 水セメント比について スランプについて コンクリートの力学的特性とは 圧縮強度について 実験の方法 結果と考察	○	○	○	○	○		
	8	(円と四角の構成)								
後期中間	9	*クラスを3班に分けローテーションで実施	CAD実習について Office系(ワード、エクセル、パワーポイント)で書類作成ができる。 CADの使い方・作図手順を身につける。 レイヤー分けをし、効率的に作図することができる。	○	○	○	○	◎		
	10		平面構成について 円、四角をモチーフにして、グレースケールの表現、レイアウト、色彩構成、色の調合、筆の使い方、鳥口、溝引き定規の使い方等を修得する							
	11									
学年末	11									
	12									
	1									
	2									
	3									

【工業:建築科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		実習	単位数	4	学科・学年	建築・デザイン科3年								
使用教科書		実教出版 建築実習1・2			副教材	プリント、その他								
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)										評価の重点				
建築に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に対応できる能力と態度を育てる。 ・整理、指示事項を聞ける態度 ・実習への取り組み方、関心、意欲 ・整理、整頓、及び安全作業 ・レポートの提出										関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
学期	月	実習名(班別)			主な学習活動・評価のポイント		評価方法							
前期中間	4	1班 鉄骨工事、鉄骨・溶接実習 1. 鉄骨工作図の作成 鉄骨工作図の作成手順 鉄骨工作図 (高力ボルト・溶接記号・部			1. 設計図書などに織り込まれた鉄骨部材の性能が正確に工作図に表現出来るようにするため、工作図の機能・作		授業態度 (作業態度) 作業順序、達成度 課題の完成度 レポート		○	○	○	○	○	
	5	材記 号・寸法・縮尺) 2. アーク溶接 アーク溶接・溶接の原理 アーク溶接の利点・溶接の			作 図要領を理解させ、併せて工作図の作 成能力を養う。				○	○	○	○	○	
	6	欠点 交流アーク溶接の特質 溶接機と取り扱いについて 溶接時の電撃について アーク遮光について			2. アーク溶接の基礎知識を理解させる。(溶接接合の特徴、継目形式、継									
前期末	6				手形式、溶接作業の装置と用具及び災害予防等、実技指導を通して溶接に関する技能の概要を学習させる。)				○	○	○	○	○	
	7	2班 測量実習												
	8	1. トランシット測量 ・トランシットの構造・操作・据付												
	9	2. トランバース測量 ・トランバース測量の概要 ・トランバース測量の外業・内業												
後期中間	9				1. トランシットは望遠鏡を使って角〔水平角 ・鉛直角〕の測定を行う。		作業 作品 レポート		○	○	○	◎	◎	
	10	鉄筋組み立て ・足場の組み立て ・鉄筋加工 ・鉄筋組み立て ・軽天の組み立て ・解体			2. トランバース測量の外業 ・水平角の測定・距離の測定 3. トランバース測量の内業 ・測角の点検と角度の調整 ・方位角の計算・方位の計算 ・緯距・経距の計算 ・トランバースの調整・製図									
	11	3班 パワーポイント演習			・安全に作業が出来る。 ・工具を正しく使用出来る。 ・作業手順方法を習得する。 ・作業手順方法を習得する。 ・安全に作業が出来る。				○	○	○	◎	◎	
学年末	11	*クラスを3班に分けローテーションで実施												
	12	施工管理技術者試験												
	1	卒業設計			・文字・図形・レイアウト等の基本操作を習得する。 ・応用・実践									
	2													
	3													

【工業:建築・デザイン科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		デザイン実習A	単位数	2	学科・学年	建築・デザイン科3年デザイン選択						
使用教科書					副教材							
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】)												
デザインの専門分野に関する基礎的な技術を実際の作業を通して総合的に修得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。 純粋形態をモチーフにイラストレーターを効果的に使用して造形的に処理する事を学ぶ。 フォトショップを効果的に使用して造形的に処理する事を学ぶ。 グラフィックデザインの制作。												
評価の重点												
関心・意欲・態度 思考・判断 技能・表現 知識・理解												
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)			主な学習活動・評価のポイント		評価方法					
前期中間	4	図形処理ソフトウェア イラストレーターの理解 「円と四角」を使った構成			純粋形態の理解・形態の造形的処理・文字のレイアウトなどについて学ぶ		授業態度 作品		○	○	○	○
	5	↓ イラストレーター基本操作			↓							
	6	図形処理ソフトウェアの基本・応用			基本操作を理解し、複雑な図形を表現する				○	○	○	○
前期末	6	↓			↓							
	7	図形処理ソフトウェア フォトショップの理解 「練習ソフト」を使用して			練習ソフトを利用して、基本操作を理解し、複雑な図形を表現する				○	○	○	○
	8											
	9											
後期中間	9	ビジュアルデザイン			コンセプト・資料収集・アイデアスケッチ				○	○	○	○
	10	↓			表現・構成・配色計画・本制作							
	11	↓			本制作							
学年末	11	ブック・カレンダー・CDジャケット・カード等			コンセプト・資料収集・アイデアスケッチ				○	○	○	
	12	↓			表現・構成・配色計画・本制作				○	○	○	
	1	↓			本制作						○	○
	2	↓			まとめ							
	3	↓										

【工業:建築・デザイン科】

平成25年度 指導と評価の年間計画(シラバス)

盛岡工業高校 全日制課程

教科		デザイン実習B	単位数	2	学科・学年	建築・デザイン科3年デザイン選択									
使用教科書					副教材										
到達目標(具体的な取り組み【評価基準を念頭に置いた指導上の留意点】) デザインの専門分野に関する基礎的な技術を、2年次に修得した知識を基に、実際の作業を通して総合的に修得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。															
評価の重点															
関心・意欲・態度															
思考・判断															
技能・表現・実践															
知識・理解															
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント			評価方法									
前期中間	4	○立体デザイン	表現したい対象物を、第三者に正確に伝えられるよう、技術を修得する			授業態度 作品・課題提出		○	○	○	○				
	5	・ペーパークラフト (12面体)	作図から12面の立体を制作し各面に美しいデザインを考えて一つの作品とする												
	6											○	○	○	○
前期末	6	○工業デザイン	レンダリングの基礎から応用まで段階的に学習し着色技術を習得する			授業態度		○	○	○	○				
	7	・レンダリング													
	8														
	9											○	○	○	○
後期中間	9	○建築パース	様々な技法を体験し材料の表現方法を学ぶ			授業態度		○	○	○	○				
	10	・外観、室内													
	11											表現・構成・配色計画・本制作 本制作	○	○	○
学年末	11	○小型グラフィック作品	コンセプト・資料収集・アイデアスケッチ 表現・構成・配色計画・本制作 本制作 工業デザイン完成 まとめ			授業態度		○	○	○	○				
	12	ブック・カレンダー・CDジャケット・カード等													
	1											○	○	○	○
	2											○	○	○	○
	3											○	○	○	○